

事業所名 多機能型事業所 児童発達支援 にこここ

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

1日

法人（事業所）理念	『認められる経験を大切に』 褒めて伸ばす関わりを基本とし、子どもが「自分は大丈夫」と思える心を育てます。								
支援方針	・出来ない事より、出来た事に目を向ける。 ・結果より挑戦した過程を褒める。 ・子どもの「今」を否定しない。 ・保護者にも安心と前向きな言葉を届ける。								
営業時間	10時	00分	から	18時	45分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容									
本人支援	健康・生活	・健康チェック（検温・気分把握等の定期的な心身の把握） ・食事、更衣、排泄等の介助、支援 ・基本的な生活スキルの獲得トレーニング（衛生管理、身だしなみ等）							
	運動・感覚	・原始反射の統合 ・体幹、身体バランス、運動機能向上のための運動、遊び（ハンモック、ボルダリング、ボール遊び、縄とび、サーキット遊び等） ・リトミック							
	認知・行動	・日付、時間等の感覚・数の認知形成 ・空間認知形成（ブロック遊び等） ・感覚認知形成（水遊び、スライム等） ・創作活動（絵画、工作等）				・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング ・構造化（視覚的掲示等） ・季節行事等による興味・感覚形成			
	言語 コミュニケーション	・文字、記号、絵カード、ジェスチャー等を使ってコミュニケーション手段の選択 ・個別または小集団で障がい特性に応じた読み書き支援（文字に親しむ、就学に向けての名前の読み書き） ・相互コミュニケーションのための支援（全員で行う小集団活動時間等交流の場の提供）							
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成支援 ・模倣遊びなどを通じた社会性の発達支援（見立て遊び、ごっこ遊び） ・共同遊びや集団参加への支援（全員で行う小集団活動、役割分担のある遊び、個人・チームなどの様々な単位での遊び） ・社会生活上の自己コントロールのための支援（ルール理解への特性に応じた支援） ・レクリエーション行事、イベント活動（社会見学、遠足、お買い物体験等）							
家族支援	・支援方針、方法、生活、心配事等の助言・相談 ・延長支援等による家族環境への配慮 ・その他、育児負担軽減のための支援					移行支援	・移行先との調整、情報提供、連携等		
地域支援・地域連携	・関連機関（相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、幼稚園等）との連携 ・社会見学、外出、お買い物体験等の地域、社会参加活動					職員の質の向上	・事業所内部・外部研修、勉強会の実施、参加		
主な行事等	・季節の行事（夏祭り、クリスマス、ハロウィン、遠足）や製作 ・毎月のイベント活動（調理、外出、工作） ・避難訓練								